

福知山ツバメ調査 2025 報告

福知山ツバメ調査（4月初～6月末）に、市民 29 名の方から 204 件の報告をいただきました。調査参加者は 2022 年度から延べ人数 172 名となりました。ありがとうございました。

報告 204 件の内、福知山市内は 192 件であり、営巣場所の報告数は、ツバメ 100 箇所、コシアカツバメ 66 箇所、イワツバメ 2 箇所、種不明 4 箇所の計 172 箇所でした。

ツバメの増減については、増えていると感じている方は 2 人、減っていると感じている方は 8 人、変わらないと感じている方は 10 人、分からない方は 5 人でした。

糞受けや天敵対策など、多くの方がツバメの子育てをやさしく見守っていることが分かりました。

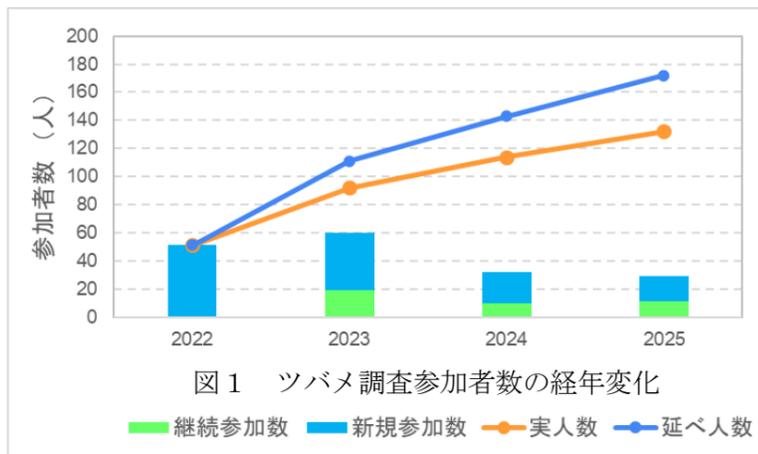


図1 ツバメ調査参加者数の経年変化

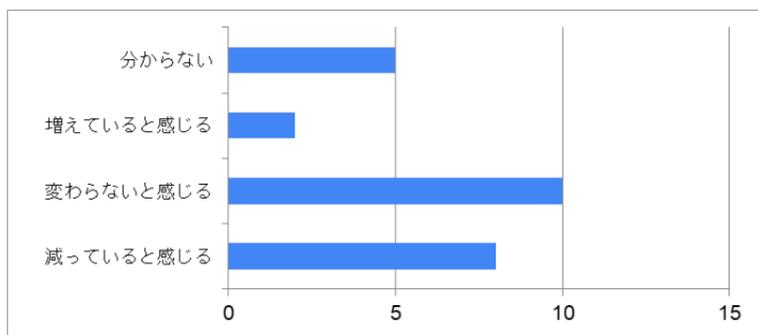


図2 ツバメの増減

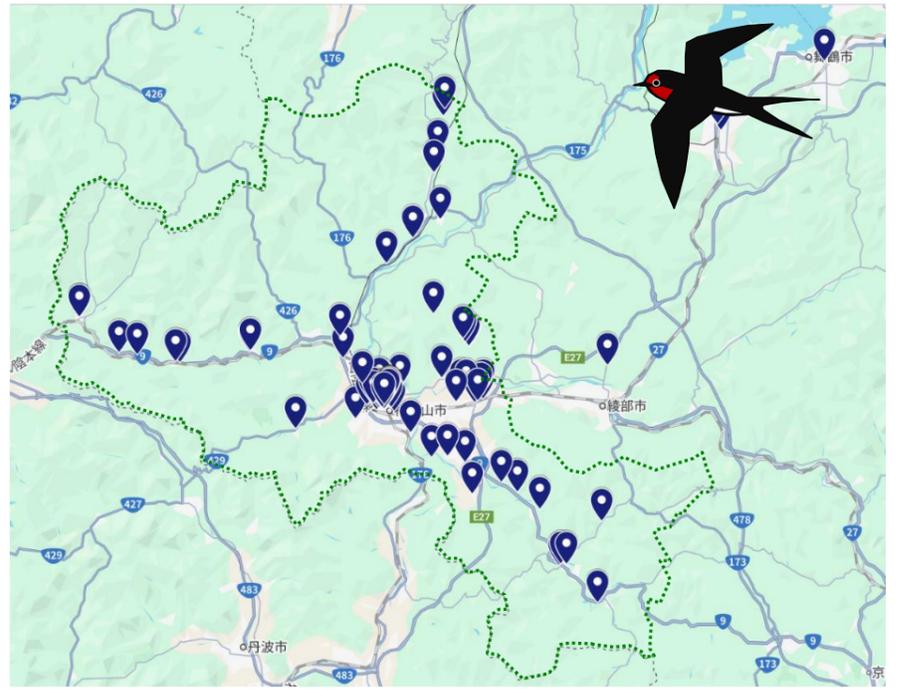


図3 ツバメの分布

- ・営巣場所の報告数は 100 箇所と昨年の 94 箇所より増えました。
- ・営巣場所は福知山市内全域に分布していました。
- ・過去に報告があった場所は 55%、新規報告の場所は 45%でした。

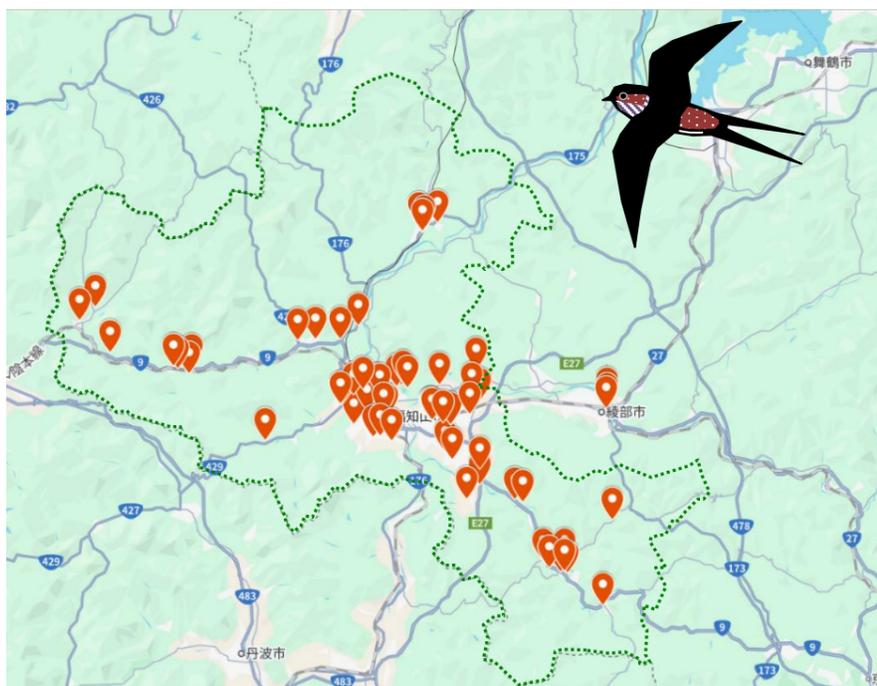


図4 コシアカツバメの分布

- ・営巣場所の報告数は 66 箇所と昨年の 64 箇所より増えました。
- ・営巣場所は福知山市内全域に分布していました。
- ・過去に報告があった場所は 73%、新規報告の場所は 27%でした。

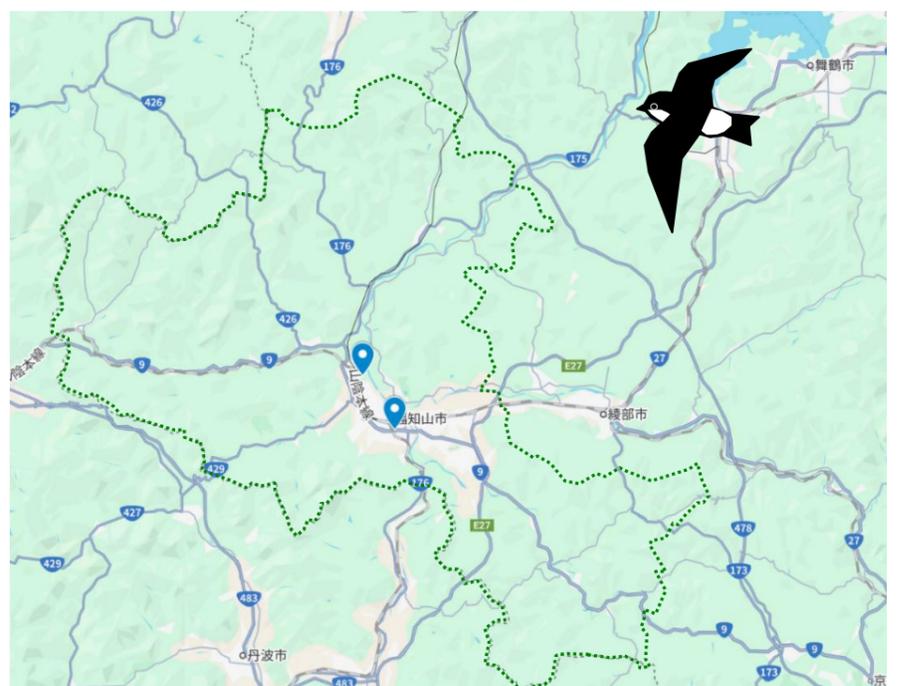


図5 イワツバメの分布

- ・営巣場所の報告数は 2 箇所と昨年の 4 箇所より減りました。
- ・営巣場所は道路の高架下や橋に局所的に分布していました。
- ・過去に報告があった場所は 100%、新規報告の場所は 0%でした。

福知山ツバメ調査 2025 報告

福知山市内の営巣場所報告数の経年変化を図6に示しました。ツバメの報告数は、毎年増えて2022年から47%増、コシアカツバメの報告数はわずかに増えて8%増、イワツバメの報告数は2023年から減って80%減でした。但し本調査は同じ場所を毎年継続的に調査しているのではなく、参加者が任意の場所での営巣を報告しているものであり、営巣場所報告数の増減が、実際の営巣場所の増減を反映するものではありません。

そこで概ね継続的に調査されている区域として城下町を中心とする区域を設定し、ツバメの営巣場所報告数の増減を見ると、この区域では2023年以降は横ばいとなっていました。今後も区域での継続的な調査を進めることで増減の傾向を把握できると期待されます。

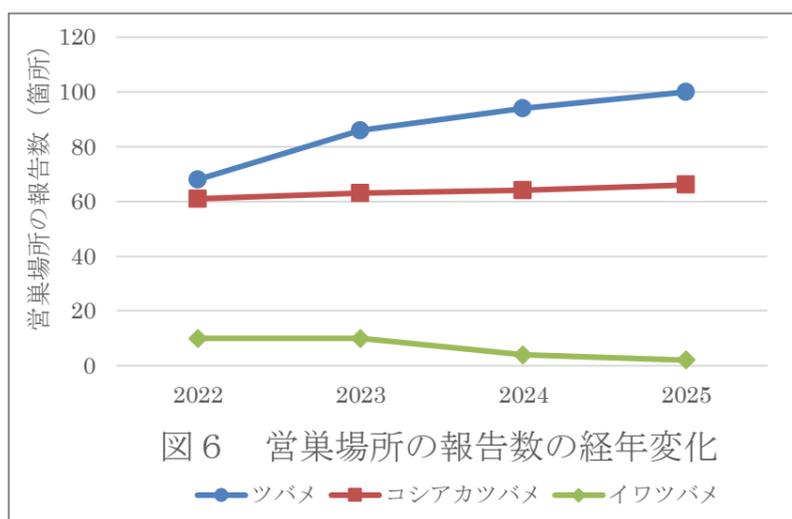


図6 営巣場所の報告数の経年変化

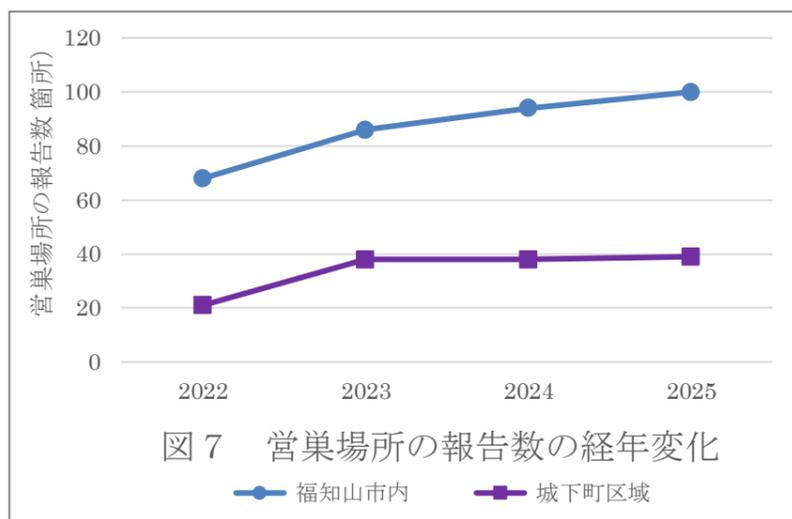


図7 営巣場所の報告数の経年変化

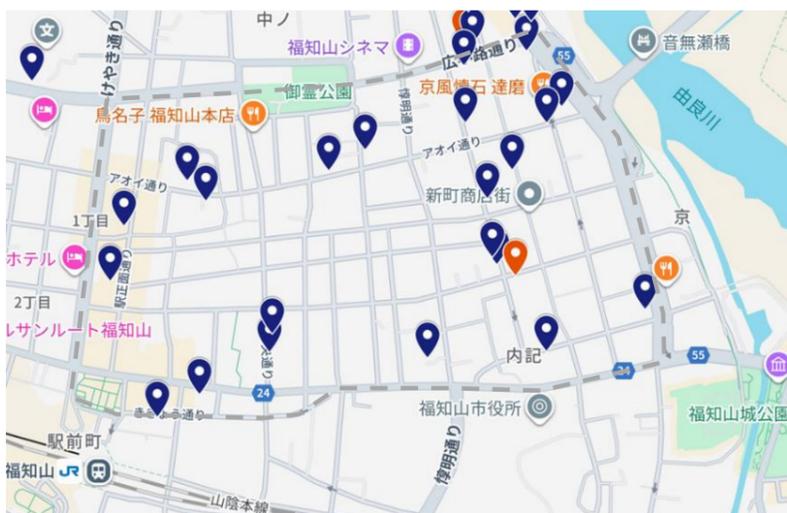


図8 2022年営巣場所報告マップ



図9 2023年営巣場所報告マップ



図10 2024年営巣場所報告マップ



図11 2025年営巣場所報告マップ